

ゆめ わらわ 夢 亭

菅波 茂

今年3月9日。フィリピンのケソン市のホテルで台風30号復興支援国際会議が開催された。午前中はレイテ医師会長、東サマル島ギボロス市長のプレゼンテーション、タクロバン市長からのメッセージの紹介。続いて、被災者支援を行っていた保健省国際協力局、フィリピン軍予備役将軍、海軍予備役司令官、イロイロ市ライオンズクラブ、PRRM（フィリピン農村再建運動）の各プレゼンテーションや、フィリピン医師会からのメッセージの紹介があった。

4月26日。まなびの館ローズコム（福山市）で台風30号復興支援会議が福山市医師会とAMDA（フィリピン医師会）との共催で開催された。森近茂福山市医師会長の開会のあいさつ。マリア・タギアンフィリピン総領事、小林史明衆議院議員、羽田皓福山市長（代読）、大田祐介市議のあいさつ。続いて岸田文雄外務大臣と横倉義武日本医師会長、湯崎英彦広島県知

事、小林史明衆議院議員、羽田皓福山市長（代読）、大田祐介市議のあいさつ。続いて岸田文雄外務大臣と横倉義武日本医師会長、湯崎英彦広島県知

比台風復興支援会議と市民参加型人道支援外交



広島県福山市の会議に参加した森近茂・福山市医師会長（左端）、マリアカサル・レイテ医師会次期会長（中央）、大田泰正・大田記念病院理事長（右端）

人の村人が埋もれて亡くなった被災者支援に多国籍医療チームを派遣。1年後に、被災地で多宗教の宗教者ボランティアによる宗派を超えた慰霊を実施している。

広島県教育委員会からの呼びかけに応じた県立学校の生徒が、AMDA高校生グローバル人財育成プログラムへ参加したことに對して敬意を表したい。福山誠之館高校生2人が台風被災地タクロバン市を訪問。広島県下の33校の高校生が集めた募金でフィリピンの被災した高校生に文房具などを贈呈、交流した。11年4月にも広島県の福山誠之館高校と黒瀬高校から各2人が東日本被災地の大槌高校を訪れている。「あなたを見放さない」。

人間として最も大切なメッセージである。世界に普遍性のある人格形成教育である。自治体（姉妹縁組）外交にも新機軸を創出し（AMDAグループ代表）

「ヒロシマ」からの平和外交。市民参加型人道支援外交の先駆けとなれば望外の喜びである。

事のメッセージの紹介。引き続き、レイテ医師会タグラ会長、大田記念病院から派遣された石根周治医師と村上悠也看護師、タクロバン福山交流支援センターの三谷千城代表、広島県教育委員会事務局職員と広島県立福山誠之館高校生から活動報告等がされた。

最後に私から二つの提案をした。一つは崩壊したレイテ医師会館を災害医療拠点として再建。資金は日本医師会、福山市

06年2月の南レイテ島の大規模地滑りでは千